

令和2年度 藤枝順心中学校・高等学校 学校評価(前期) (評価規準 A:十分に実践されている B:ある程度実践されている C:不十分である D:分からない)

建学の精神 女性の自律・自主と先度他の心の涵養						
教育目標 白梅精神のもと、「清楚な生徒」、「芳香を発する生徒」、「忍耐のできる生徒」を育てる。						
本年度の重点目標 ①学習指導の充実 ②進路指導の充実 ③生活指導の充実 ④情報発信の充実 ⑤健康管理 ⑥安全管理						
重点目標	評価項目	具体的方策又は評価項目を評価する具体的な指標	評価	成果及び来年度への取り組み	評価	学校関係者からの意見
①学習指導の充実	アクティブ・ラーニング	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学入試改革に向けて、アクティブ・ラーニング、ICTを利用した授業を実践する。〔5教科による、年2回の研究授業を行い、全職員で授業検討会を行う。(前期はICTを利用)〕</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>予定されていた研究授業は、新型コロナウイルス対応で中止となってしまった。(後期実施予定)</li> <li>ICTを利用した授業は、継続的に実施できている。</li> <li>新型コロナウイルス対応で授業時間が減り、講義式の授業が増えた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍のなか、対面授業が行えず、会話の中からの学びが少なくなったのは残念に思います。</li> <li>公立小中学校へのIT機器(iPadなど)が無償配布される中、私立学校としてどう考えているのか。</li> <li>後期は、是非、研究授業を実施してほしい。</li> </ul>
	授業動画視聴・オンライン授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校のICT環境を整え、全職員が授業動画作成、オンライン授業のスキルを身につけることで、ICT教育の充実を図る。</li> <li>生徒の授業動画視聴・オンライン授業を推進し、不意な事態による臨時休業に対応するために、生徒が家庭で学習を行うツールの1つとして活用する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍でWi-Fi環境が各階に整備され、全職員にICTに対する意識とスキルが高まり、オンライン授業の実践もできた。</li> <li>授業動画の作成も実施され、オンライン授業と共に、さらに研究、工夫が可能だと思われる。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>Wi-Fiの環境が整って、大変良かったと感じています。</li> <li>Wi-Fi環境のない世帯へのフォローをしっかりとしてほしい。</li> <li>オンライン授業は思っていたよりも分りやすく、生徒も質問しやすいという話を聞いています。</li> <li>オンライン授業を拝見し、先生も生徒達も真剣に取り組んでいる姿に感心しました。</li> <li>是非一度、オンライン授業を参観させていただきたいと思います。</li> </ul>
②進路指導の充実	就職指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年後の就職を意識させ、3年間を見通した指導計画を提示。</li> <li>企業に来校していただき、生徒が希望する企業から説明を受ける機会を設ける。(13社予定)また、オンラインによる企業説明会を初めて実施する。</li> <li>企業訪問や卒業生、行政機関、企業採用担当者等の講話を通して、企業への理解を深め、社会人になることへの意識高揚を図る。</li> <li>徹底した面接指導及び基礎学力の充実を図り、希望する会社への内定を勝ち取る。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済同友会主催のオンライン企業説明会に参加し、生徒には好評であった。</li> <li>企業を招いての説明会(14社)は本年度3回目となり、一人3社説明を受けた。</li> <li>社会保険労務士の講話、県主催就職支援事業の面接指導等を積極的に利用した。</li> <li>本年は、就職試験の開始が1か月遅れ、10月16日となったが、夏季休暇中は例年通り面接指導と筆記対策を行った。</li> <li>2年次の就職課題として、企業調べを行った。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍であっても、就職指導が充実していると感じています。</li> <li>インターンシップの制度など、学生が仕事の体験が出来るような機会があればと思います。</li> <li>時代に見合った説明会等の積極的指導によって、成果が出ていることを嬉しく思います。</li> <li>卒業生のお話を聞く機会や、丹念な面接指導など丁寧な就職指導に感謝しています。</li> </ul>
	進学指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>国公立大学&amp;中堅以上私大以上6名以上(一般・推薦・AOを問わず)</li> <li>高3生への面接・小論文指導強化</li> <li>高1・2年生の学力向上、進研模試で全国平均(偏差値50)以上の生徒を、大進・中高各クラス3名(特進は5名以上)以上育てる。</li> <li>進研模試・基礎力診断テストの事前準備・結果データ活用強化</li> <li>各生徒への個別学習指導(放課後希望学習・スタディサプリ)</li> <li>学習習慣定着(スコラ利用強化)</li> <li>進路目標づくりの充実(現在実施中の目標設定課題・進路G・適性検査・進路調査を融合させる)</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>大進、中高部とも3年生の進学希望者の大半が、模試の結果低迷。その影響で、安全志向の傾向が強く、多くは中堅未満の大学のスポーツ推薦や部活動に関連した総合選抜型試験での入学を希望している。</li> <li>低学年層へのアプローチも、コロナ禍で遅れがちである。スタディサプリ、スコラ、放課後講座など、年度当初の目標を再確認したい。</li> <li>希望進路へのサポートは手厚くできている。</li> <li>大学進学希望者が少ないので、低学年から指導をしていきたい。</li> <li>特進の人数を増やしたい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動(運動部)の推薦での進学が多いような気がする。部活動に関係なく学力で進学する生徒が増えることを期待します。</li> <li>特進コースに期待しています。</li> <li>生徒の可能性を見出し、高い目標に引っ張り上げていくことが先生方の力量だと思います。先生方の頑張りに期待しています。</li> <li>コロナ禍という特殊な状況を考えると安全志向になるのは致し方ないかと思えます。しかし、模試の結果が低迷しているということは、改善しなければならない点だとも思います。</li> </ul>

重点目標	評価項目	具体的方策又は評価項目を評価する具体的な指標	評価	成果及び来年度への取り組み	評価	学校関係者からの意見
③生活指導の充実	礼法教育の実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>「your steps」に従い美しい所作を指導する。（椅子の掛け方、歩き方、ドアの開け方、お茶の入れ方など）</li> <li>会食指導は礼法にかなった食事作法を実践する。</li> <li>会釈・挨拶の励行をし、場に応じた挨拶の指導をする。</li> <li>「授業をする上での留意すべき事項」に従い、礼法指導に即した授業実践をする。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>会食指導や礼法の授業は、学校の特色や自慢できる点だと感じている生徒が多く、大事なことだという意識が身につけているように思う。</li> <li>1年生については、休校期間もあり、まだ身につけていないと感じることが多い。</li> <li>教員の意識、指導力に差があり、年度当初に礼法教育の意義、指導方法を確認したい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>順心にしかない礼法を、今の生徒は感謝し、また、それを理解させてほしいと思います。</li> <li>礼法の授業は本当に顺心独特で、自慢のできる素晴らしいものだと思います。社会に出てから礼法の大事さに気づくと思います。</li> <li>指導力に差があるのは残念です。より意識を高め、研修の機会を設けて下さい。</li> <li>すれ違う生徒の明るい挨拶を聞くと、礼法が全体に行き届いていると感じています。</li> </ul>
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>「情報収集→まとめ→分析→報告」を繰り返し、教師相互の共通理解を図り、指導にあたる。</li> <li>一報を通して迅速な情報共有に努める。</li> <li>週番活動を通して校風高揚に貢献する姿勢を指導する。</li> <li>校風向上週間、マナーアップキャンペーンで清楚な身なりを指導する。</li> <li>清掃活動を通して環境美化に努め、施設を丁寧に使用することを指導する。</li> <li>教室内の整理整頓を通して私物の管理を正しく行い、清潔な生活感覚を育てる。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>一報を通じて迅速な情報共有ができています。</li> <li>校内の美化、教室内の整理整頓はよくできている。</li> <li>個人差はあるが、大多数の生徒は清掃に真面目に取り組んでいる。</li> <li>週番活動は、生徒・職員とも校風高揚を考える良い機会になっている。週目標の内容、項目に工夫が加わればさらに良いかと思う。</li> <li>スマホを防犯上の連絡手段として活用できる仕組みを作っていきたい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>この時代に、スマートフォンを持たせないのは、防犯上非常に心配となる。登下校時に連絡をとる術がなく、早急な対応が必要だと感じている。</li> <li>学校の中は、いつも綺麗に隅々まで清掃されていて、素晴らしいと思います。</li> <li>防犯上のことを考えると、スマホの利用の仕方を考える時期にきていると思います。</li> </ul>
④情報発信の充実	学年通信 学級通信	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信を、学年主任・担任と保護者とのコミュニケーションの一つと捉え、学年・学級の状況を伝える。〔月1回発行〕</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラス全体、クラスの一人一人が目に浮かぶように伝えるのは難しいが、保護者とのコミュニケーションツールであるので、色や写真、座右の銘など工夫をしていきたい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級通信は、先生方が色々工夫をしてくださり、子どもたちの普段の様子が変わり役立っています。</li> <li>親の、子供とのコミュニケーションの取り方についても、考えていきたいと思っています。</li> </ul>
	HP・SNSの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページによる情報発信のタイムリー性と実用性の向上</li> <li>フェイスブック、ツイッター、インスタグラムの効果的な利用</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度はHPでの情報発信が多かった。しっかり活用できている。</li> <li>中学、高校ともイベントの申し込みには欠かせないものになっている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>きずなネット、HPからの情報、助かっています。</li> <li>HPの更新頻度で、様々な事が評価される時代だと思います。引き続きよろしくお願いします。</li> </ul>
⑤健康管理	保健管理 保健教育 健康相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症対策を含めた日常の健康観察の実施（個人健康観察表・クラス健康観察カード）</li> <li>新型コロナウイルス感染症に対するガイドラインの作成と状況に合わせた検討</li> <li>健康相談の充実を図り、生徒の支援を行う。その際、必要に応じスクールカウンセラーとの連絡を密にする。</li> <li>感染症等の状況や生徒の成長、実態に即した健康教育の実施</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナという想定外の状況に、職員一丸となって対応できたと感じている。</li> <li>健康観察、動向調査が継続的に行われ、感染症対策に即した健康教育が実施された。</li> <li>養護教諭、カウンセラーと連携しながら、きめ細やかな対応ができた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍に於いて、十分に対応して頂いていることに感謝します。</li> <li>県外からの寮生も多くいるなか、対応も大変だったと思います。大きな混乱もなく、素早い情報提供、対応ができていたと思います。</li> <li>感染者が出た場合の周囲の対処の仕方を、指導していくことも大切かと思えます。</li> </ul>
⑥安全管理	職員防災体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>危機意識を高めるための避難訓練の実施（7月 10月）</li> <li>集団下校訓練を行う。</li> <li>消火訓練、救急対策講習会などの訓練を通し、職員の意識向上を図る。</li> <li>職員の役割分担の周知、徹底を図る。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月にAEDを使用した心肺蘇生訓練を職員対象に実施した。この訓練は例年実施していて、職員には周知徹底できている。</li> <li>6月実施予定だった防災訓練を11月に変更して実施する予定。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急時の連絡方法はどうするのか、スマホの所持も含めて考えて頂きたい。</li> <li>コロナ禍でも、防災訓練、避難訓練の実施をお願いします。</li> </ul>